

住人十色

第 120 回

世界をぐるりと回って内子町に—— まちの魅力を冊子で伝えるデザイナー

市毛 友一郎さん(45) 〓中通り〓



◎最近手掛けた冊子を手「デザインの提案をするのが私の役割。思いを形にしてくれる内子町に感謝」と話す市毛さん

デザイナーの市毛友一郎さんは、昨年5月に内子町に移住してきました。観光公式ガイドブック『内子紀行』などを手掛けたほか、世界一周をした経験などを生かし、内子町の観光振興に協力しています。

「世界中を旅したとき、世界遺産を見るよりも、田舎の日常の暮らしや料理に感動した」と話す市毛さん。内子町でも日々、その感動を味わっているそうです。「息子が夜泣きしたとき、近所の人にお願いしたら『声が聞こえなかったら寂しい』と言ってくれた。優しい住民と自然に囲まれながら、旬の食材で季節を感じる暮らしがお気に入り」とにっこり。

市毛さんは『内子紀行』を作るとき、「この町には伝えきれない魅力がたくさんあると感じた」と言います。ガイドブックに載らない、日常や人々も紹介したいと『内子町の新しい風』という冊子を町に提案しました。「いい風景の中には、人々の暮らしが息づいている。そこに魅せられた移住者たちの思いや生業を紹介した冊子です。彼らの目線で町を見ると、また違う魅力が発見できる。暮らしが魅力的で人々が優しい地域は、観光にも移住にも最適。私も魅了された一人。これからもデザインを通じて、そのよさを伝えたい」と思いを語りました。

編集 幸記

▽ニール・ハートマンさんの素晴らしい写真のよさを伝えたいと頑張っているつもりでしたが、まだまだでした。7月にもまた撮影に来てくれるそうなので、観光協会の梶尾さんと一緒に技術を盗みます(裕)

▽広報コンクールの表彰式で、北九州市に行ってくださいました。たくさんの人と交流し、改めて広報担当者の結びつきの強さに驚かされました。やけどしそうなほど熱い人たちに揉まれて、また一つ成長できたでしょうか(航)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

